






共通項目 キャンパス全体

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> </ul>	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙削減の取り組みについては、各課の報告による。</li> <li>・所管課ごとにみると、目標を達成できていない課も見られたが、全体としては目標を達成することができた。</li> </ul>
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイバッグ、マイボトルの使用</li> <li>・丁寧に物を扱い、長く使用する</li> <li>・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。</li> </ul>	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総量については昨年度に比べ0.4%排出量が増えてしまったが、分別ボックス設置箇所削減対象の日常回収排出量については、前年度に比べ20%弱削減する事ができた。年間を通じて排出量は減少傾向だったため、日常での削減取組がキャンパス全体で取り組んでいると考えられる。</li> </ul>
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>・カタログ又は見積先に確認</li> <li>・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>・各職場の責任者がチェック。</li> </ul>	12.2 12.7 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入の取り組みについては、各課の報告による。</li> </ul>
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>・暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用）</li> <li>・教室、部屋の不在時消灯</li> <li>・エレベーター使用時は2UP3DOWN</li> </ul>	7.3 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課の取り組みとして月16時間の電力削減目標を掲げ定時退勤に取り組んだ。課によって差はあるものの、キャンパス全体では目標を達成できた。</li> <li>・空調設備の更新や日々の取組により八景キャンパスでの使用量は約5%の削減ができ、年度目標以上の削減を達成する事ができた。</li> </ul>

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> 室内のMTGや打合せでも極力紙を使用せず、室内決裁で可能なものはメール決裁とする。	12.2 	・原稿の校正など、極力印刷せずPC上で確認・修正指示を出す等、紙の使用を抑える取り組みを実践できた。 ・会議、ミーティングでの紙配布を削減した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> 個人個人が廃棄物の分別に取り組む。	12.2 	・物品購入時は必要性を吟味し、廃棄物を増やさないよう心がけた。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> グリーン購入を優先的に行う。	12.2 12.7 	・グリーン購入で調達できるものはするよう、心がけた。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> 空気攪拌のため扇風機を併用する。 外気温と湿度により冷房使用を判断し、窓を開けるなどして調節する。	7.3 12.2  	・先の取組みを広報室全体で取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
印刷物の制作	校正作業に係る紙の削減	<b>【各取り組み】</b> 校正作業時の原稿印刷をできるだけ減らし、コピー用紙の使用を抑制する	12.2 	・前述のとおり、余計な印刷を極力減らし、PC上での作業と切り替えた。

環境活動者の取り組み評価	印刷物の削減や、電力消費の抑制、資源の分別・再利用など、職員ひとりひとりが日頃の行動から心がけ、行動変容することができたと思います。引き続き、環境負荷を低減しながら業務効率を維持しつつ成果を上げていきたいと思っています。
--------------	--

金沢八景キャンパスグローバル推進室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・室内の情報共有は紙ではなくメールの添付で行う	12.2 	・室内の情報共有にはメーリングリストを利用している。また、印刷が必要な場合はN-upを基本とし、かつ、裏紙を利用するなど、削減を行っている。 ・会議についてはタブレットを利用するなど、不要な紙の印刷を控えている。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 	・室内共通の物品コーナーを設けており、これを共同で利用することにより、購入を控えている。また、朝のMTGを活用して物品購入の意見を聴くなど、室内で情報共有を行っている。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 12.7 	・物品の購入についてはグリーン購入を意識している。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・空調使用時のブラインドを使用。 ・空調使用時のドアの閉鎖。	7.3 12.2  	・冷暖房温度基準の遵守、不在時消灯などに取り組んでいる。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
留学生受け入れ	途上国の学生に教育の機会を与える。	<b>【各取り組み】</b> ・アジア・アフリカからの留学生を積極的に受けれる。	4.3 1.5 12.8   	・JICA ABEプログラムやJSTさくらサイエンスプランなどにより、アジア・アフリカの学生を受け入れている。

環境活動者の取り組み評価	取り組みの内容を共有し、都度議論することによって、環境についての意識が高まった。また、これとあわせて日ごろの業務などを見直すきっかけとなった。
--------------	---



共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取組】</b> ・説明(会議)資料を簡潔にする。 ・全ての複写機にコピー用紙削減(単価等記入)のポスター掲示を行い啓発を促す。また、購入量についても各課にフィードバックを行い意識してもらう。	12.2 	・会議、説明資料はサマリーを作成して説明し、ボリュームの多い本体資料は印刷せず電子データで確認してもらうようにした。 ・打合せ資料や会議資料の簡素化、極力A4サイズでの印刷、N-upなどを意識し、コピー用紙の削減を図ったが、全会議をペーパーレス化することはできなかった。 ・各課へコピー用紙・印刷費削減ポスターの掲出を行い、注意喚起を行うことができた。また、毎月の使用量を各課にフィードバックすることで、各課における削減意識も高まったと思われる。 ・公印済みの寄附金領収書の写し等は印刷せず電子データで残すようにした。 ・担当内の供覧資料等の印刷が必要な場合は裏紙を必ず使用した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取組】</b> ・3Rから5Rへ意識を向ける。 ①Refuse(リフューズ) 断る ②Reduce(リデュース) 発生抑制 ③Reuse(リユース) 再使用 ④Repair(リペア) 修理 ⑤Recycle(リサイクル) 再生利用	12.2 	・各課から不要になったリサイクル可能な消耗品を、学内払出物品の在庫に加え、再利用を徹底した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・定例決裁簿の様式変更を行い、啓発を行う。 ・全職員にグリーン購入について知ってもらう啓発チラシを作成する。	12.2 12.7 	・グリーン購入対象商品に関しては優先的に適用品を選択した。 ・定例決裁簿の様式変更を行い、グリーン購入の意識を高めた。 ・啓発チラシを作成することができなかったため、翌年度の課題とする。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装(夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用) ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取組】</b> ・始業前、昼休憩時などの業務時間外は消灯を徹底する。	7.3 12.2  	・残業や休日出勤、テレワーク等で職員が少人数の時は、必要最小限の点灯・暖房とするなどした。 ・昼休憩時の消灯を心がけた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
備品・物品管理	各所管で不要となった物品は、再利用するなど、物品の購入を必要最低限に抑える。	<b>【各取組】</b> ・安易に物を購入せず、YCU-Netの再利用物品コーナーの積極的活用を推進する。	12.2  	・再利用物品コーナーだけでなく、学内に積極的に声をかけ、リサイクル可能な消耗品を回収し、払出物品として学内での再利用を行った。 ・事務用品の払出を依頼する際には、再利用物品を希望した。(財務担当以外)
会議の運営	会議の運営に係る電力の消費や、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取組】</b> ・会議室は極力同じ部屋を連続して使用(できるだけ執務室を使用)する ・タブレットの使用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2 	・極力執務室内でのミーティングを行うこととし、他の諸室利用を控えた。 ・昨年度に引き続き、会議はペーパーレス化に努めた。特に人数の多い会議では、資料を印刷する場合に比べて、約45,000枚の紙の削減につながった。 ・全会議でタブレットを使用するには至らなかったが、資料の簡素化を行った。
環境活動者(所属長)の取組評価	共通項目については、ペーパーレス化の取組や、消耗品の再利用、電力の節電など、取組を徹底することができた。 所管業務目標である会議運営については、タブレットの使用や資料の簡素化などにより、多くの紙の削減につなげることができた。 引き続き、環境に配慮した取組を進めていく。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・担当内での共有すべき資料はデータ上で共有する。	12.2 	・プリントアウトは両面印刷及びN-up印刷を行った。 ・データでの資料共有を意識し、印刷部数の削減に取り組んだ。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・不要備品の再利用(再利用物品コーナーの設置)	12.2 	・物品は再利用を心掛けるとともに、購入する場合は必要性を十分検討し計画的な購入を行った。 ・マイボトルを使用した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・各担当者が物品購入に環境配慮物品等を調達する。	12.2 12.7 	・環境管理研修にて必要性を確認した。 ・購入時にはグリーン購入の適合品であるかの確認を行った。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドの使用	7.3 12.2  	・ブラインドや扇風機を使用するとともに、季節に合わせた服装で温度調整した。 ・廊下や執務室など不在時は消灯した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
来客対応	来客対応時の空調負荷を軽減し、快適さと両立させる。	<b>【各取り組み】</b> ・空調と空気攪拌（扇風機）機の併用をするとともに、時期に合わせたお茶出し等を行い、空調負荷を軽減させる。	12.2 	・空調と空気攪拌（扇風機）機を併用し、時期に合わせたお茶出し等を行い、空調負荷を軽減させた。
工事	地球温暖化ガスの排出削減 工事において、建設機械は国土交通省が認定した排出ガス対策型を100%使用する。	<b>【各取り組み】</b> ・工事施工者に対して、建設機械については排出ガス対策型を使用することを依頼する。 ・建設機械の現場搬入時に、排出ガス対策型であることを確認する。	12.2 	建設機械については、工事仕様書に排出ガス対策型であることを記載し、現場搬入時に確認した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
一時貸付	貸付時の空調負荷を軽減し、快適さと両立させる。	<b>【各取り組み】</b> ・冷房機でも外が涼しい日には、窓を開けてもらうよう協力を依頼する。	12.2 	・中央監視へ外気温に合わせた運用を依頼し、過度な運転にならないよう取り組んだ。
屋外清掃	委託先において、廃棄物の再利用を行う	<b>【各取り組み】</b> ・不要になったものを積極的に再利用する。	12.5 	・不要になったものでも、修理したり、廃棄せず使用できる場所は再利用をするよう常に意識し取り組んでいる。
修繕、改修	環境への配慮を明確に伝える。	<b>【各取り組み】</b> ・グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記し、工事実施時点で適合状況を確認する。	12.2 12.5 15.1  	・グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記し、材料検査時に確認した。

施設の長寿命化	施設の点検等により必要な箇所を対応する。	<b>【各取り組み】</b> ・建築物の劣化において、早期に修繕対応することで、大規模な修繕とならないようにする。	12.2 	・建築基準法12条点検及び劣化診断等を行い劣化状況を把握し、修繕必要箇所についてはその都度対応した。
エネルギーの節約	全キャンパス合計で、エネルギー使用量を3年間で、1%削減する。	<b>【各取り組み】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・冷温水機等のインバーター化 ・省エネ機器の導入 ・老朽化設備の更新 ・照明のLED化	7.3 12.2  	・2病院でのエネルギー使用量増加のため、目標達成は困難な見通し。 八景キャンパスでは、インバータ設置、省エネ機器への交換、シーリングファン設置等によって、エネルギー使用量の削減に取り組んだ。
スクラパー実験廃水	敷地外に漏洩させない	<b>【各取り組み】</b> 日常点検、教員への啓発・周知を行う	14.1、14.2 6.3 12.4、12.5   	・実験排水配管（2重管）の圧力試験を定期的に行い漏洩防止対策を行った。

環境活動者の取り組み評価	共通項目については、データを活用したコピー用紙の削減や、物品の再利用、取組を意識した節電など、徹底することができた。 所管業務目標については、それぞれの項目を意識して取り組むことで、ほぼ全ての項目の年度目標を達成することができた。なお、所管業務目標のエネルギーの節約については、複数年での達成とする目標であるため、引き続き数値目標を意識した取り組みを継続する必要がある。			
--------------	--	--	--	--



共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> 委託業者にも両面N-upでの印刷を依頼する	12.2 	・両面N-upでの印刷を習慣づけることで、印刷枚数を削減
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> 部屋のレイアウト変更やシステム更新等で不要になったLANケーブルを再利用する	12.2 	・教育実習室PCの更新において、LANケーブルやセキュリティワイヤーなど、継続利用が可能なものは再利用することで対応
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> 消耗品は必ずグリーン購入適合品を選ぶ	12.2 12.7 	・消耗品購入時にはグリーン購入適合品を選択
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> PCを一定時間操作しなかった場合にディスプレイの電源を切ってスリープ状態になる設定にする	7.3 12.2  	・システムの一括処理など途中でスリープすると不具合が生じる作業を行わない端末については、ディスプレイの電源を切ってスリープ状態になる設定を実施
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
情報実習室の更新	更新後に廃棄対象となるOA機器を事務職用に再利用する	<b>【各取り組み】</b> 情報実習室の中間モニターやマウスなどを事務職用PCの外付け機器として払い出す	12.2 	・不要となった情報実習室の中間モニター67台を事務職用PCの外付け機器として払出しを実施
ネットワーク基盤の更新	法人全体で機能が同一のサーバを集約することで物理的機器を減らし、電力消費を抑える	<b>【各取り組み】</b> 全拠点で共有する事務職用ファイルサーバを用意し、個別で導入する機器を減らしていく	7.3 12.2 	・全拠点で共有する事務職用ファイルサーバ構築を仕様に盛り込み、現在詳細設計を実施中
ネットワーク基盤の更新	無線LAN環境エリアを拡張することで、WEB会議化やペーパーレス化を促進する	<b>【各取り組み】</b> 未設置の会議室や共用スペースに無線のアクセスポイントを設置する	9.4 12.2 	・未設置の会議室や共用スペースへの無線アクセスポイント設置を仕様に盛り込み、現在詳細設計を実施中

環境活動者の取り組み評価	基幹更新（情報実習室PCの入替）で不要となった中間モニターの再利用については、引き取り希望者が非常に多く、全拠点合わせて67台も配布することができ、引き取り後の職員からの評判もよく有効活用することができた。
--------------	---

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・執務室に不要なコピーの削減を呼び掛けるポスター掲示 ・N-up印刷、両面コピー、裏紙使用に努める。	12.2 	・ポスターを掲示する等、部内で印刷方法見直しの必要性について認識を深めた、N-up印刷、両面コピー、裏紙使用に努めた。 ・障害者雇用推進室での名刺作成業務等でコピーを使用する機会が増加している。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・環境整備チームでのシュレッダー業務のPRと拡大 ・地球環境資源の保全と3Rの大切さを職場内で共有	12.2 	・物品は可能な限り繰り返し利用し、十分検討してから物品購入をした。 ・秘密文書の「溶解」処理量をできる限り削減するため、障害者雇用推進室に依頼してシュレッダー処理に努めた。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> 上記のとおり	12.2 12.7 	・適合品を購入するよう努めたが、不適合品を購入する事例も見られた。グリーン購入について周知徹底していく必要がある。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドを降ろし直射日光を遮断（夏季） ・うちわを使用し卓上扇風機を使用しない（夏季）	7.3 12.2  	・季節に合わせた服装、ブラインドやエアコンの風口カバー等を活用し、空調電力の削減に取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
男性職員の育児休業取得を促進	男性職員の育児休業取得率10%以上を目指す。 (横浜市立大学行動計画)	<b>【各取り組み】</b> 育児・介護制度の周知徹底及び情報の汲み取りを進める。	4.4 5.4  	・男性の育休取得…2人(取得率3.1%) ・出産・育児に係る有給休暇…2人(取得率25.0%/八景キャンパス)
働き方の見直し	・平均超過勤務時間を45h/月末満とする。 ・年次休暇は10日以上、夏季休暇は完全取得を目指す。	<b>【各取り組み】</b> 年次・夏季休暇を取得しやすい環境を整えるため、人事課内でミーティング等で周知を図る。また、法人全体では制度上の仕組みづくりと積極的にPRする。	7.3 8.5  	・大学部門において夏季に加えて年末に一斉休業日を設けた。 ・テレワークを試行実施した。 ・平均超過勤務実績…21.75h/月 ・年休取得平均…11.6日 ・夏季休暇取得…平均4.9日
男女共同参画	管理職に占める女性職員の割合を20%以上とする。	<b>【各取り組み】</b> 性別に関わらず、昇任やキャリアアップの機会が得られる職場環境づくりを進める。	4.4 5.5  	・ダイバーシティ研修を実施し職員へ啓発。 ・管理職に占める女性職員の割合…事務・技術職13.9%、医療技術職33.3%

環境活動者の取り組み評価	季節に合わせた服装やサーキュレーター、エアコン風口カバー等の利用により、空調電力の削減に取り組んだ。日当たり等の影響により、室内温度が適温にならず、業務に影響を及ぼしうる場合は冷暖房温度を調整することがあった。 紙使用量に関しては、業務上の必要性などからなかなか削減に結びつかない。その分、秘密文書の「溶解」処理量をできる限り削減するため、障害者雇用推進室に依頼してシュレッダー処理に努めた。
--------------	---



共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・使用状況のこまめな管理と分析 ・配布物資料の持参、及び回覧による資料の削減を図る	12.2 	・両面、N-up、裏紙での印刷は標準として行われている。タブレット等での会議も浸透しており、ペーパーレスにつながっている。 ・コピー用紙使用量は各担当内で共有されており、数値目標を達成した。(目標値596,160枚、実績値381,500枚)
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・各所管で不要になった備品の再利用	12.2 12.5 	・関係事務所管と連携し、備品の再利用を進めた。教員の採用・退職に伴う研究室等の備品移動についても、事前に聴取することで状況を的確に把握し、廃棄を最小限にするよう努めた。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・新たな適合品に関する情報収集 ・整理整頓をし、物品の重複購入を控える	12.2 12.7 	・各担当において環境管理研修を通じた啓発を行うとともに、整理整頓の期間を設けて物品の重複購入防止に努めた。 ・グリーン購入については、適合品であるかを都度確認しており、適合品がある物品については優先的に購入している。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・ブラインド、カーテンの効果的利用 ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定	7.3 12.2  	・省エネ退勤の取組をはじめ、空調、照明、パソコン、コピー機等の消費電力を効果的に抑制するよう、職員への啓発を行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
啓発への協力	海洋都市横浜うみ協議会での活動を通じ、海における環境保護活動に協力する。	<b>【各取り組み】</b> ・「うみ博」における出展 ・海洋環境問題に関する講座開催	4.4 13.3 14.3 17.17    	・横浜市政策局と連携の上「海洋都市横浜うみ博」への出展、関連するエクステンション講座の開催を通じ、SDGsへの啓発活動に貢献した。
タブレットの貸出し	タブレットの推奨を行いペーパーレスを図る	<b>【各取り組み】</b> ・教員にむけ啓発を行う ・職員へタブレット貸出しについて定期的に周知、推奨する	12.5 	・会議におけるタブレットの使用は定着しつつあり、ペーパーレス化を推進できている。

環境活動者の取り組み評価	<p>ペーパーレスについては、各職員に浸透しつつあるが、教員が授業で使用する教材には多くの紙が使用されているため、引き続き啓発が必要である。なお、年度後半以降はコロナウイルス感染症拡大防止に係る本学の方針に基づき、ウェブ会議システムを活用した会議開催、また遠隔授業の実施準備にも取り組むことができたため、これを契機としたペーパーレス化が推進できる可能性は高いと考える。</p> <p>SDGsについては、公開行事・講座を通じての展開に加え、本学授業科目におけるSDGs関連科目抽出を行った。全学的に集約した情報公開ページも立ち上がっているため、引き続き内容の精査を行いながら発信していきたい。</p>
--------------	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・まず、コピーする必要があるかを考える。 ・カラーコピーする必要があるかを考える。	12.2 	・学生支援課ではプリント等は基本的に両面印刷にしてコピー用紙の使用削減に努めている。ただ、会議等にタブレット等の使用はほとんど進んでいない。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・燃やすゴミとミックス紙の分別の徹底。 ・食べ物を残さない。	12.2 	・学生支援課ではごみの分別等について徹底している。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・グリーン購入適合品確認の徹底 ・グリーン購入適合品以外は発注を認めない方針の徹底	12.2 12.7 	・学生支援課では事務用品等については極力、グリーン購入適合品を購入している。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・当日の気温に応じたこまめなオンオフ管理 ・廊下の節電。少々暗くても体裁は考えない。	7.3 12.2  	・学生支援課では常に節電を意識して行動している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
サークル活動への指導	部室等が整理整頓されている状態にする。	<b>【各取り組み】</b> 必要な物が誰にでもすぐに取り出せる状態にしておく、探すムダをなくすよう学生へ指導する。	12.2 	・学生に対して部室や使用した施設を整理整頓するよう指導している。
サークル活動への指導	施設を利用した際に電力の節約に取り組んだ状態にする	<b>【各取り組み】</b> 施設を利用した際は、利用後速やかに中央監視室（内線2315）に連絡し、空調をストップしてもらう。	7.3 12.2  	・学生から施設利用申請があった際は、使用時間を事前に中央監視室に連絡し、空調の使用時間を限定している。
学生への啓発	学生へ環境に配慮した行動を啓発していく	<b>【各取り組み】</b> 学生へ周知した方が良い、環境に関する情報等があった場合、ポスターやSNS等を使用し啓発を行う	7.2,7.3 12.2  	・学生へ通知した方が良いと思われる環境等に関する情報等は、学生に対して啓発を行っている。
環境活動者の取り組み評価	概ね計画は達成できたが、今後も当該職員と共に、この取組を徹底していきます。また、学生に対し、電力の節電、環境に配慮した行動などについて、引き続き、啓発していきます。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・裏紙の活用 ・印刷時にミスがないかのダブルチェック	12.2 	・裏紙の活用、N-up印刷も積極的に取り入れている。会議において用紙を使う場面が多かったため、プロジェクターやノートパソコンを活用する必要があると感じた。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・ゴミの分別を徹底する ・他部署の不要物を再利用する	12.2 	・ゴミの分別に関しては、各自が自覚をもって取り組んでいた。また、リサイクルに関しても、不要になった椅子や机、モニターなどを積極的に使用している。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・環境に良い商品を優先的に購入する	12.2 12.7 	・各職員への周知が足りていないと感じた。今後は環境管理研修などを丁寧に行い、職員への啓発をさらに行う必要がある。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・帰宅時にPCの主電源を切る ・扇風機を活用する	7.3 12.2  	・定時を過ぎたときに不要な電源を落とすという取り組みを自発的に行っており、各職員に意識付けができていたことが見て取れた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
オープンキャンパス	オープンキャンパスなどのイベント時において、無駄な資源を利用しないようにする。	<b>【各取り組み】</b> ・受付を紙ではなく、タブレットで行う ・新たな必要物品はレンタルなどで揃える ・参加人数を把握したうえで印刷を行う	12.2 	・タブレットによる参加集計システムは用紙の節約に大変貢献したと感じた。他のイベントでも受付をタブレットで行うことを進めていきたい。
環境活動者の取り組み評価	各職員がリサイクルや省電力の活動を積極的に行うことが見られたので、今後も継続していくべきであると感じた。環境管理についての取り組みについて、各職員がより自覚を持つために、貼り紙などで呼びかけを行ってきたい。			







共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・コピー機前に月別使用枚数を貼り、視覚化により枚数削減意識を高める。	12.2 	・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷はほぼ浸透している。 ・当課の主催会議(事務局等)は、参加人数も限られた少人数のため、タブレット等は使用していない。 ・月別使用枚数の視覚化の効果もあり、目標値内に収まった。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・執務室内の不要なゴミ箱を減らす。	12.2 	・マイバッグ・マイカップ等の使用、物品購入時の必要性の検討を十分に実施した結果、無駄な物は減少した。 ・また、執務室内の不要なゴミ箱を福浦キャンパスのゴミ箱が足りない部署に送付した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・グリーン購入について、課員への啓発・周知を課内ミーティング等で徹底する。	12.2 12.7 	・消耗品・備品のグリーン購入については、課内でミーティング等で周知し、購入時も徹底を図った。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装(夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用) ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・非常に古い電気ヒーターは、安全上も考慮し廃棄する。	7.3 12.2  	・冷暖房温度設定、季節に合わせた服装、不在時の消灯、エレベーター使用時の2UP3DOWNは浸透している。 ・古い電気ヒーター3台は廃棄した。足元が冷えるとの意見もあったが、感じ方は個人差もあり服装やひざ掛けの使用で乗り切れた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
受動喫煙防止	7月1日からのキャンパス敷地内全面禁煙の実効性を高めるよう、啓発等を継続する。	<b>【各取り組み】</b> ・保健管理センターニュース、ポスター等の掲示による情報発信 ・各会議・委員会(合同調整会議等)での周知	11.6 3.9  	・キャンパス敷地内全面禁煙については、金沢区役所と共催のイベント・保健管理センターニュース・関連ポスターの掲示や合同調整会議・安全衛生委員会等で周知し、啓発を継続した。

環境活動者の取り組み評価	・共通項目については、朝会等でも周知し職員の意識も高まっている。 ・所管業務目標の受動喫煙防止に関しては、総務課からの禁煙パトロールの報告も参考にして啓発を継続した。
--------------	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・定期的な進捗報告で全員が状況共有 ・会議のペーパーレス化への移行	12.2 	・裏紙印刷、2アップあるいは4アップ印刷の推奨 ・コピー用紙の箱に月毎の利用目標を掲出し、利用抑制を図る。 ・担当会議での、コピー用紙使用状況の共有と、利用削減の働きかけ。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・年1回更新のプラスチック製市民利用カードは再利用する運用へと変更を検討 ・館内飲食コーナーで販売予定の紙カップコーヒーはマイボトル使用推奨の掲示	12.2 	・各種ファイルの再利用推進。 ・ごみの分別の徹底。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・定例決裁簿で同時に都度確認	12.2 12.7 	・物品購入時にグリーン購入適合品であることを都度確認、定例決裁簿にグリーン購入適合品であることを明示。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・窓開け、扇風機での温度調整の促進 ・定時退勤日の空調・照明の節電強化	7.3 12.2  	・省エネ退勤日の徹底。 ・防寒具の利用の推奨。 ・資料運搬時以外の館内移動時の、階段利用の推奨。
所管業務目標設定	年度目標		該当SDGs	
環境管理の啓発	図書館として積極的に環境関連の資料を集め、利用者に向けた企画展示を行うことで考える機会を提供し、意識向上へと繋げる。	<b>【各取り組み】</b> ・環境関連資料の収書 ・定期的に行っているテーマ展示の一つとして環境管理関連の図書を集積・展示	4.7 	・SDGsに関する展示の実施（令和元年8月5日から9月23日まで）

環境活動者の取り組み評価	・おおむね目標設定どおりに取り組むことができた。 ・SDGsに関する展示は、YCU-Netなどでも周知を行い、多くの教職員・学生に関心をもってご覧いただくことができ、SDGsに関する資料の貸出も増加した。 ・事務室内の空調機では、冷暖房温度の設定ができないため、適温を維持するためには消費電力が大きい電源ON/OFFを繰り返す必要があり、課題となっている。			
--------------	--	--	--	--

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・配布済み資料の持参 ・回覧の活用	12.2 	目標値：99,080枚 令和元年度実績：68,161枚 消費率：69% ・会議時のタブレット・プロジェクターの使用、配布済み資料の持参、回覧の活用等を徹底し、大幅に目標を達成した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・不要備品の再利用（机、棚等）	12.2 	・不要となった書棚やデスクを、必要とする部門間で譲り合い、積極的に再利用に取り組んだ。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 12.7 	・消耗品・備品については、担当者が適宜在庫を確認し、グリーン購入100%を徹底している。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28°C、暖房期を19°C ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌（扇風機）機の併用	7.3 12.2  	・冷暖房の温度を適正に設定し、扇風機やブラインドの併用、昼休憩時の消灯等、省電力に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
安全マニュアルの管理	研究室等において実験を安全に、かつ環境保全に注意して行うため、教員と連携し安全マニュアルを作成・管理する。	<b>【各取り組み】</b> ・教員と連携したマニュアル作成 ・各教員にマニュアル配布	6.3 12.4,12.5 14.1,14.2   	・10月に教職員で委員会を開催し、マニュアル内容について審議。2020年度版が3月に完成し、理学系教員に配布した。
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取り組み】</b> ・TV会議、PC、プロジェクターの活用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2  	・TV会議、タブレット、プロジェクターの活用が浸透し、紙資料の配布はかなり削減できている。

環境活動者の取り組み評価	共通項目の取り組みでは、会議時のタブレット・プロジェクターの使用等によりコピー用紙の大幅な削減を達成したほか、物品購入に際しては必要性及び在庫の確認等により適量購入に努め、また、不要時の消灯等により省電力に取り組んだ。 所管業務においては、特に研究室等における実験を、安全かつ環境保全に注意して行うことを周知するため、理学系の教員と連携して安全マニュアル作成した。その中で、環境保全につながる取り組みとして、実験廃棄物や実験廃液の管理等を適切に行うように呼びかけを行った。
--------------	---



共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・配布済み資料の持参 ・回覧の活用	12.2 	目標値：121,940枚 令和元年度実績：105,339枚 消費率：86% ・会議時のタブレット・プロジェクターの使用、回覧の活用等を徹底し、目標の達成を目指した。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・不要備品の再利用（机、棚等）	12.2 	・不要となった書棚やデスクを、必要とする部門間で譲り合い、積極的に再利用に取り組んだ。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b>	12.2 12.7 	・消耗品・備品については、担当者が適宜在庫を確認し、グリーン購入100%を徹底している。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌（扇風機）機の併用	7.3 12.2  	・冷暖房の温度を適正に設定し、扇風機やブラインドの併用、昼休憩時の消灯等、省電力に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<b>【各取り組み】</b> ・TV会議、PC、プロジェクターの活用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2  	・TV会議、タブレット、プロジェクターの活用による紙資料の配布削減に努めた。
共用研究機器の有効利用	学内の共用研究機器の相互利用を推進する仕組みを充実させることで、資源の有効活用を進める。	<b>【各取り組み】</b> ・必要な機器の購入や更新を行うとともに、不要機器の整理・廃棄を進める。 ・30年度に運用を開始した機器管理システムの機能を拡充して利便性の向上を図るとともに、安定的な継続運用を進めていく。	9.1,9.4 12.2,12.5,12.7  	・再利用可能な共用機器については学内の利用希望者を募集したり、不要機器の整理・廃棄を進め、スペースの効率的な活用に取り組んだ。
事務作業の軽減	研究費執行に係る事務の効率化を図ることで、教員の研究時間を確保し、研究支援基盤の充実を図る。	<b>【各取り組み】</b> ・必要書類の見直し ・窓口業務時間帯の見直し ・システム導入検討	7.3 8.3  	・研究費（奨学寄附金）の事務手続きの見直しを行い、教職員双方の負担軽減につなげた。 ・ポストを設置し、定時以降はポストへ書類投函してもらい、窓口時間を明確化した。 ・経費採算業務についてはシステムのトライアルを実施し、検討を進めた。
環境活動者の取り組み評価	共通項目の取り組みでは、会議時のタブレット・プロジェクターの使用等によりコピー用紙の大幅な削減を達成したほか、物品購入に際しては必要性及び在庫の確認等により適量購入に努め、また、不要時の消灯等により省電力に取り組んだ。 所管業務においては、特に再生可能な共用機器について、希望者に再利用してもらえるよう募集を行い、また、不要機器の整理・廃棄を進めスペースの効率的な活用に取り組むなど資源の有効活用を進めることができた。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷時に紙の必要性を再度検討し、データでも良いものは印刷を控える。</li> </ul>	<p>12.2</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議や離れたキャンパス間授業をオンラインにて実施</li> <li>PDFなどデジタルデータでの配布などを実施しコピー用紙の削減に取り組んだ。</li> </ul>
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトルの使用</li> <li>丁寧に物を扱い、長く使用する</li> <li>購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レジ袋・割りばし等の使用をなるべく控える。</li> </ul>	<p>12.2</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理の取り組みである分別BOXの縮小や、会議などの配布資料のデジタルデータ化に伴い廃棄物の量も減らしている。</li> </ul>
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>カタログ又は見積先に確認</li> <li>見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入時には、なるべく環境に配慮したエコマークのあるものを探すようにする。</li> </ul>	<p>12.2 12.7</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に大学生協にて物品を購入しているため、グリーン購入対応商品を購入している。</li> </ul>
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用）</li> <li>教室、部屋の不在時消灯</li> <li>エレベーター使用時は2UP3DOWN</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生にも電気器具や実験機材等の使用に際して節電を促す。</li> </ul>	<p>7.3 12.2</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気や、季節にあわせた服装を推奨し電力の削減に取り組んでいる。</li> </ul>

所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
自然科学系列				
薬品の管理	薬品の管理を適正に行う。	<b>【各取り組み】</b> ・台帳等を準備し、確認・管理を心がける。 ・安全マニュアルを遵守する。 ・不要になった薬品はできるだけ速やかに処分する。 ・退官する教員は実験室等にある薬品を処分する。	6.3 12.4 14.1 14.2 	・必要以上の購入はおこなわず、また法令で定められている報告管理を年に1度提出し、管理徹底をしている。
実験装置の管理	実験装置を廃棄する際は有害物質を適正に処理をする。	<b>【各取り組み】</b> ・退官する教員は実験装置や器具等を適切な方法で処分する。	12.4 12.5 	・現在有害物質が含まれている実験装置は使用をしていないが、昔使用していたものを廃棄する場合は専門業者へ処分を依頼し適正な処分を実施している。
実験排水の管理	薬品を排水に出さない。	<b>【各取り組み】</b> ・薬品は種別の基準に従って処理する。 ・使用器具は安全マニュアルに従って処理をする。	6.3 12.4 14.1 14.2 	・水質検査を行い管理している。異常がでた場合には原因を特定できるような体制をとっている。
自然科学系列・人文科学系列 共通				
コピー用紙の管理	研究費で購入するコピー用紙について、前年度購入量を越さない	<b>【各取り組み】</b> ・両面印刷やN-up印刷等を心がける。	12.2 12.5 	・両面印刷などはもちろん、データでの配布を推奨し削減に取り組んだ。
研究活動				
都市防災の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取り組み】</b> ・論文発表等を行う。	13.1 	・当該教員の研究成果についてはリサーチマップにて公表し、学内だけではなく幅広く見る事ができる環境になっている。
環境政策の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取り組み】</b> ・論文発表等を行う。	6.1・6.3 7.2・7.3・7.6 13.1・13.6 14.1・14.2 15.1～15.7 	同上
海洋環境の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取り組み】</b> ・論文発表等を行う。	13.1・13.6 14.1・14.2 	同上
貧困対策の研究	研究成果を広く伝える。	<b>【各取り組み】</b> ・論文発表等を行う。	1.1～1.5 2.1～2.c 3.1・3.2・ 3.4・3.9・3.a 6.1 10.2～ 10.4 	同上
環境活動者の取り組み評価	本キャンパスでは、SGDsに基づき広く環境に配慮した取り組みがなされている。特に、多量のコピー用紙を必要としてきた各種会議体での配布資料をPDF化し、個人用タブレット等の情報通信機器を用いることでコピー資料作成作業の省力化とコピー用紙使用量の削減が進んでいる。当該研究活動についても、その成果は他の研究成果と同様、全国統一の研究者データベースResearchmapに記載登録し、デジタルデータとして国内外に発信できている。また理系での大型機器の廃棄や危険物等の処分も従来と比較して計画的に実施されている。全体的に昨今のデジタル化の影響が功を奏し、印刷体の減少と作業の人的省力化が達成されている。今後も印刷体の準備製作作業等の人的省力化、不要な紙媒体の減少、さらなるデジタルデータ化利用の推進が望まれる。			



共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・会議時等の紙配布資料の削減	12.2 	・両面印刷を徹底や、配布資料の電子化を推進し、目標74,100枚に対して、本年度70,000枚となり5%以上削減
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・持ち込みゴミの禁止	12.2 	・廃棄物と資源化物の総量については前年度実績より1.1%以上の削減を達成。 今後も、持ち込みゴミの禁止等の周知を徹底する。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・市大・理研共催の一般公開イベント時、グリーン購入調達率100%を目指す。	12.2 12.7 	・キャンパス内での周知や回議中のチェックにより、100%達成
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・離席時・不在時のPC電源オフ	7.3 12.2  	・キャンパス内で、離席時・不在時のPC電源オフの周知を徹底したことで、電力消費量の1%以上の削減を達成
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
教育・研究活動支援	光熱水費・使用量の積極的な削減に取り組むよう啓発をする。	<b>【各取り組み】</b> ・教育・研究活動において、電気、ガス、水道の積極的な使用削減に取り組む。 ・定期的に教員へよびかける	7.3 	・定期的にキャンパス内で教員への周知を行っており、削減の努力をしている。
施設管理・修繕等	環境に対する負荷の削減 工事等において環境に対する配慮ができていくようにする。	<b>【各取り組み】</b> 仕様書に取り込むと伴に業者へ指導する。	14.1 15.1  	・業者への指導を徹底している。今後も環境に対する負荷の削減に努める。

環境活動者の取り組み評価	全体として概ね良好である。 ・令和元年度は、会議資料の削減に注力し、結果としてコピー用紙使用量の削減だけでなく、教員の資料整理の効率化を推進することができた。 ・鶴見キャンパスは、ゴミに対する意識が高く、ゴミの分別は徹底している。 ・鶴見キャンパス内のLED化を進めており、若干ではあるが、電力消費量にその効果が出ているようである。
--------------	---

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
コピー用紙	30年度に目標達成している課は30年度実績を目標とし、30年度に目標達成していない課は引き続き30年度目標値を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議はタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 <b>【各取り組み】</b> ・使用状況のこまめな管理と分析	12.2 	・両面N-up、裏紙でのN-up印刷徹底の他、会議時はノートパソコンやタブレットとした上、各サイズの使用状況を適切に管理し、紙使用を削減した。 但し、後期目標値は現実的な設定ではないため（950枚）、適正化を図れるよう担当所管との調整を希望したい。
3Rの取り組み	3Rの意識を持ってもらうため分別ボックスを減らし、廃棄物と資源化物の総量を前年度実績より1.1%削減する。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの使用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し計画的に行う。 <b>【各取り組み】</b> ・事務室及び各研究室で生じた不要備品の所内における再利用	12.2 	・研究室から不要備品が発生した際、廃棄対応に移る前に、再利用募集を周知し、研究所内再利用を行うことより、廃棄量の減少を実現した。
グリーン購入	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・新たな適合品に関する情報収集	12.2 12.7 	・消耗品・備品購入時には、グリーン購入とする基本対応を徹底することができた。 グリーン適合商品として即時判断が難しい場合にも、メーカーのサイト等により適合品の確認を行う他、新たな適合品の情報収集する等、担当職員の環境管理にかかる意識の定着が確認できた。
電力の節約	昨年度と一昨年の平均電力使用量より1%削減する。舞岡キャンパスは削減割合を0%とする。	<b>【必須取組】</b> ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせた服装（夏はネクタイ、ジャケット使わない、冬は防寒用アンダーウェアを着用） ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN <b>【各取り組み】</b> ・扇風機、サーキュレーター等、冷房機以外の機器の効果的な使用	7.3 12.2  	・一昨年度（H30）より講じている空調制御装置の設定変更を継続実施し、空調稼働時間が減少させることで、一昨年度以降の平均電力使用量の維持を実現した。 ・特に夏季においては、冷房使用に依存せず、扇風機・サーキュレーター併用等の工夫を行い、冷気を循環させ、効率的な空調を稼働に繋げることができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs	振り返り
啓発	研究所施設公開、市民講座等、研究所における講座等を通じ、気候変動、環境保護に繋がる教育実施に協力する。	<b>【各取り組み】</b> ・一日施設公開講演会、市民講座開催 ・うみ博への出展	4.4 13.3 14.3 17.17    	・研究所施設公開や市民講座（干ばつ問題）において環境保護に繋がるテーマにより、幅広い年齢層への教育を実施した。また、横浜市主催「うみ博」、戸塚区主催「SDGsパネル展」等の参加協力に応じ、所外においてもSDGs啓発活動を実施した。

環境活動者の取り組み評価	舞岡キャンパスとして現状を踏まえた取り組みを工夫し、各共通項目（コピー用紙・3Rの取り組み・グリーン購入・電力の節約・啓発）の目標を着実に達成することができた。 特に「啓発」面においては、従前より実施している研究所施設公開や市民講座に加え、県外からの見学対象の受け入れ（北海道下川町※）、各大型イベント参加協力により、市民の方や子ども達が環境保護を意識しやすいテーマにより、幅広い年齢層に教育を実施することができた。また、資源再利用として、木原生物学研究所産大麦のクラフトビールを発表することで、SDGs取り組みを契機とした本学および研究所プレゼンス向上を実現した。 なお、共通項目のうち「コピー用紙」使用量については、上述のとおり、所管部門より設定された後期目標値の適正化を図りたい。 ※戸塚区からの依頼に応じ、北海道下川町（H29年度第1回ジャパンSDGsアワード本部長（内閣総理大臣）賞受賞）の小学生の研究所見学を実施した。
--------------	--